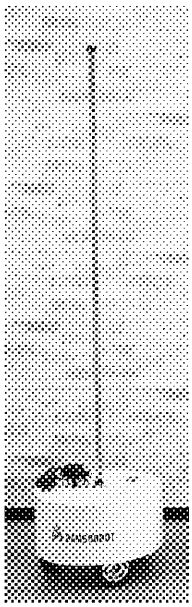
巻き尺の仕組み利用

ロボサピエンス カメラ昇降ロボ

RoboSapiens（ロボサピエンス、東京都新宿区、長尾俊社長）は、巻き尺の仕組みを利用してセンサーやカメラを昇降させるロボット「BambooBot＝写真」を開発した。約40センチメートル四方の小さな車体でありながら、2メートルの高さまでセンサーやカメラを持ち上げられる。オフィスビルや商業施設の環境計測、設備点検などでの利用を見込む。

昇降機構は、2対の巻き尺を重ね合わせてモーターで送り出す仕組みを採用した。自律的にフロアを巡回するため、計測位置の変更にも柔軟に対応しやすい。温度、湿度、空気質、映像などの取得データを3次元（3D）マップに描画できる。



日刊工業新聞 ― 株式会社RoboSapiens 無断転載・複写禁止 ㈱日刊工業新聞社